

# 第7回

## 語形

(1)

屈折語尾の減少

「屈折」って??



語形の一部を変えたり、接尾辞を加えたりして  
その語の**文法的な意味・役割関係**を示すこと

古英語



近代英語

屈折語尾が減っている

「屈折」って??

# 屈折

語形変化

性・数・格の表示

例)  
複数を表す-s  
比較級・最大級の-er, -est

活用

法・時制・態・人称・数の表示

例) 三単現の-s  
過去形 -ed

「格」って??

## 古英語の格

## 格の機能

主格(が)

主語、補語、呼び掛け語であることを合図する

対格(を)

直接目的語であることを合図する

与格(に)

間接目的語であることを合図する

具格

指示詞・疑問代名詞

手段や様態の副詞、比較表現に使用

属格(所有格)  
(の)

名詞の修飾・動詞の目的語・時間、様態の副詞に使用

屈折語尾が減少したのにはワケが・・・

古英語

主格

対格

与格

具格

属格

現代英語

主格

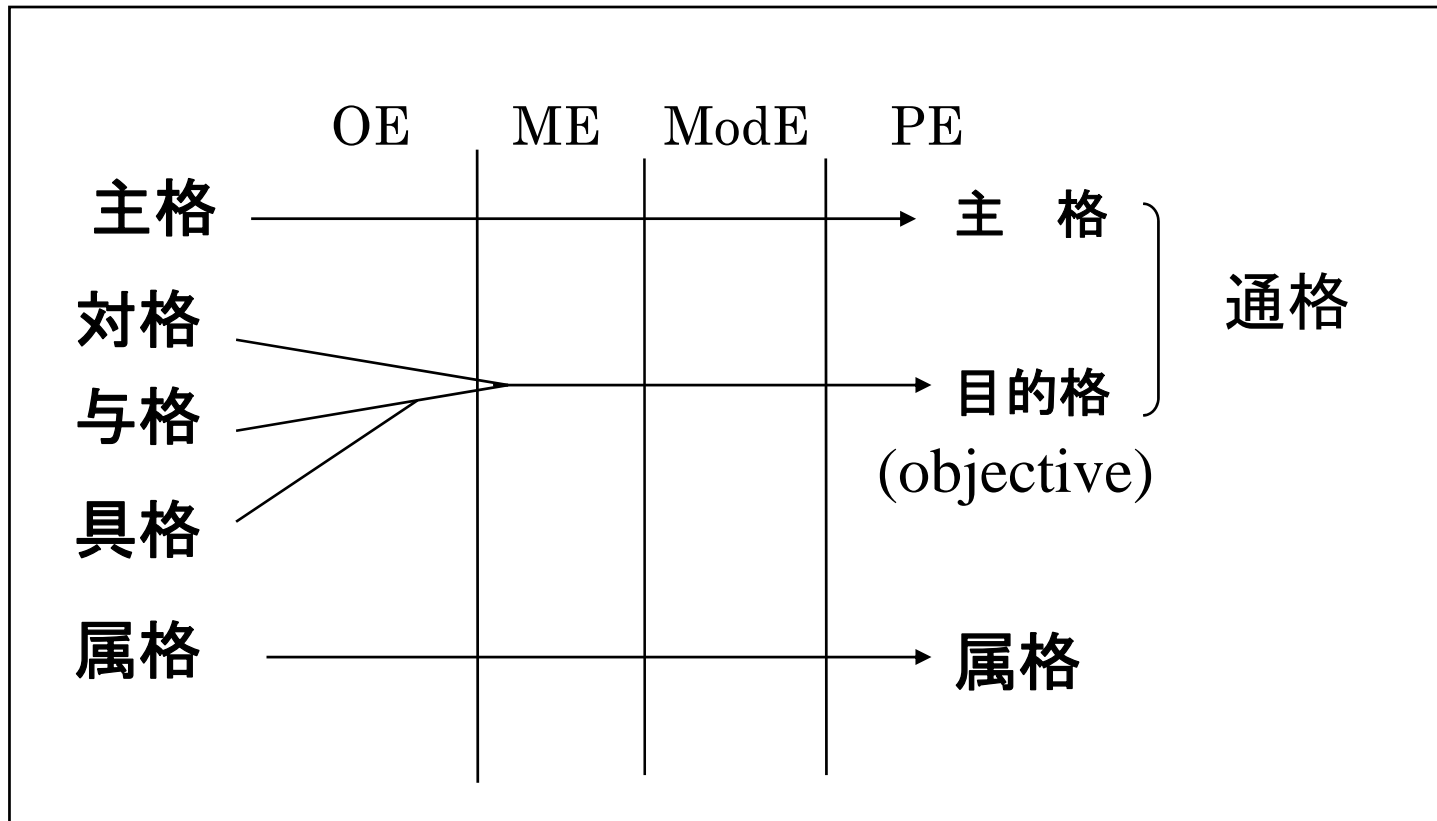
通格

目的格

属格

屈折語尾が消滅し、  
格の区別がなくなった

# 格の変遷



- \* 古英語の名詞は、中英語期に主格、対格、与格を示す語尾を消失させたので、これら3種類の格は形態上同形になった。同形になったこれら3つの格は、属格と区別するために通格(common case)と呼ばれている。その結果、英語の名詞の単数形は、形態上、通格と属格の2種類になった。
- \* 指示詞と疑問代名詞は具格を持っていた。名詞や形容詞の具格形は古英語以前に与格に吸収され、与格形がすでに具格の機能を兼ねていた。

## 屈折語尾が消失する過程

第一段階：語尾完備の期間 ----- 古英語期  
(the period of full endings)

第二段階：語尾水平化の期間 ----- 中英語期  
(the period of levelled endings)

第三段階：語尾消失の期間 ----- 近代英語期  
(the period of lost endings)

注：語尾=endingsの代わりにinflections=屈折が用いられることもある)

屈折語尾が減少したのにはワケが・・・

## 古英語は語順の規制が少ない

### 古英語

- Se cyning lufode pone bearn
- pone bearn lufode Se cyning
- Se cyning pone bearn lufode

古英語の単語には、格を示す屈折語尾があり、語と語の関係が語尾で分かるので、語順はある程度自由でした。



### 現代英語

- The king loved the child
- × the child loved The king
- × The king the child loved

現代英語は語順の規制が多い



# 形容詞と名詞の屈折語尾消失の過程: (the) good kingの場合

[形容詞gōd] + [男性・強変化名詞 cyning] = (the) good king(s)

gōd = good cyning = king		弱変化	強変化
	格	指示詞 + 形容詞 + 名詞	形容詞 + 名詞
単 数	主格	sē gōda cyning	gōd cyning
	属格	þæs gōdan cyninges	gōdes cyninges
	対格	þone gōdan cyning	gōdne cyning
	与格	þæm gōdan cyninge	gōdum cyninge
	具格	þȳ gōdan cyninge	gōde cyninge
複 数	主格・対格	þā gōdan cyningas	gōde cyningas
	属格	þæra gōdena cyninga	gōdra cyninga
	与格・具格	þæm gōdum cyningum	gōdum cyningum

(the) good king  
(the) good kings

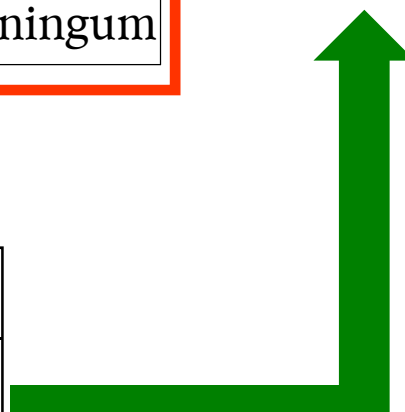
古英語

近代英語

↓  
中 英 語

	弱変化	強変化
単数	the goode kining	good kining
複数	the goode kininges	goode kininges

こんなにもシン  
プルになった！



# 確認問題



屈折とは何か説明してみましょう！  
その際、<語形変化>と<活用>も  
合わせて述べましょう！

# 確認問題



## 「屈折」

語形の一部を変えたり、接尾辞を加えたりしてその語の文法的な意味・役割関係を示すこと。

性・数・格を表示する「語形変化」と  
法・時制・態・人称・数を表示する「活用」  
の2種類に分かれる。